

みずのわ

学校だより
【第12号】
令和5年1月30日(月)
石巻市立石巻小学校

【雪の日に・・・】

今年は雪が少なく穏やかな天候が続いているなあと思っていた矢先、先週は大寒波が到来し、石巻においてもかなりの積雪がありました。童謡「雪やこんこ」の歌詞に「犬は喜び庭駆けまわり・・・」とありますが、子供たちも束の間ではありましたが、犬に負けず劣らず走り回り、雪遊びを楽しんでおりました。

近年、異常気象によるものなのか暑さ寒さが極端になりつつあるようで、生活に不自由を感じることもありますが、春夏秋冬、四季の風情のある日本という国、そしてその風情を敏感に感じ取り様々に表現する国民性は誇るべきものだと思っております。

さて、子供たちは大喜びの“雪”ですが、私たち教職員にとっては“嬉しさ半分辛さ半分”といったところでしょうか……。登下校の安全管理は学校にあります。大雨が降れば冠水箇所はないか見て回り、不審者が出没すれば巡視を行い、通学路に危険箇所がないか常に情報収集し、その都度適切に対処しなければなりません。今回のように積雪があったり、道路が凍結していたりすればなおさらです。特に本校は通学路に坂道が多いため、滑って転んで大けがをしないか心配です。

ですから、積雪情報のあった前日には融雪剤をまき、当日は雪かきをするなど、登下校の安全確保に教職員が奔走しました。良きにつけ悪きにつけ“学校文化”という観点から言えば、雪かきは教職員にとって当たり前の作業です。私も若かりし頃、何も考えずに先輩の真似をして行って来たことですが、“教員の過重労働”、“働き方改革”が叫ばれている今日（こんにち）、勤務開始時刻の1時間以上前から職員を出勤させ、雪かきを命じることは時代遅れになりつつあります。でも、しなければなりません。今現在は過重労働を貸している職員に対して私なりのやり方でお返しをしているところではありますが、この辺のジレンマについては、来年度、本校がコミュニティ・スクールになることで、地域の方々や保護者の皆様に相談し、知恵をいただき解決・改善につなげていければと考えています。

今回、保護者の方や地域の方から、

「先生方、いつもありがとうございます。ここから先は私たちが融雪剤をまきますから大丈夫です。」

「寒い中、御苦労さん。先生方、よくやってるねえ。」

という声があったと報告を受けました。褒められたいからやっている訳ではありませんが、お声掛けは私たちの仕事のモチベーションに大きく作用しております。ありがとうございます。



(校長／川田知宏)